

2011年(平成23年)3月期 決算説明資料

沢井製薬株式会社

東京証券取引所市場 第一部
証券コード: 4555

2011年5月12日

2011年3月期 決算概要

- ◆ 制度変更による保険薬局市場におけるジェネリック医薬品の使用拡大により、売上は前年比27.5%増加
- ◆ 薬価改正の影響を増収による利益増と生産性向上、コストコントロール等により吸収し、営業利益は前年比59.5%増

(単位: 百万円、%)

	2010年3月期		2011年3月期		前期比	
	通期		通期		<増減>	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率
売上高	50,069	100.0%	63,853	100.0%	13,784	27.5%
営業利益	8,518	17.0%	13,586	21.3%	5,067	59.5%
経常利益	8,406	16.8%	12,703	19.9%	4,296	51.1%
当期純利益	4,982	10.0%	7,183	11.2%	2,200	44.2%

医療機関別 納入実績 (単体)

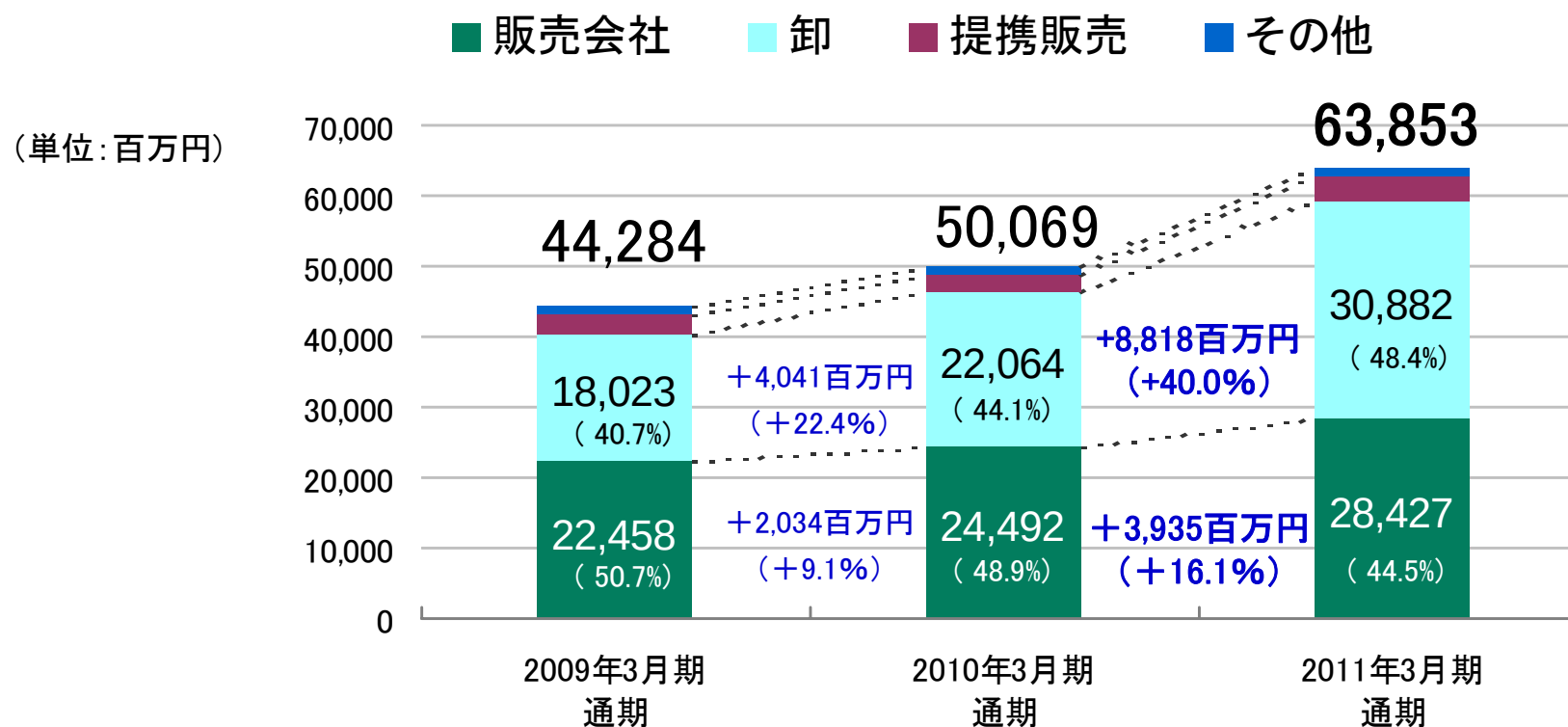
◆ 保険薬局の採用増加率が顕著

流通企業(卸・販社)から医療機関への沢井製薬製品納入実績

施設区分	全国総軒数 (a)	2010年3月期 通期		2011年3月期 通期			前期比	
		採用軒数	採用金額 構成比	採用軒数 (b)	カバー率 (b/a)	採用金額 構成比	採用軒数 増減	採用金額 増減率
病院	8,768	7,182	19.1%	7,389	(84.3%)	16.5%	207	12.6%
DPC対象病院	1,390	1,280	9.0%	1,309	(94.2%)	8.0%	29	15.9%
2007年以前対象病院	359	342	3.1%	346	(96.4%)	2.6%	4	7.9%
2008年追加対象病院	357	323	2.5%	331	(92.7%)	2.2%	8	14.1%
2009年追加対象病院	564	519	3.1%	531	(94.1%)	2.8%	12	19.1%
2010年追加対象病院	110	96	0.4%	101	(91.8%)	0.5%	5	65.1%
診療所	102,800	32,091	27.9%	32,426	(31.5%)	22.6%	335	5.3%
薬局等	81,900	46,904	52.4%	48,888	(59.7%)	60.4%	1,984	50.2%
保険薬局	55,700	46,420	51.6%	48,459	(87.0%)	59.6%	2,039	50.5%
薬店等	26,200	484	0.8%	429	(1.6%)	0.8%	-55	33.8%
その他(老健等)	-	-	0.6%	-	-	0.5%	-	19.6%
総 計	193,468	86,177	100.0%	88,703	(45.8%)	100.0%	2,526	30.3%

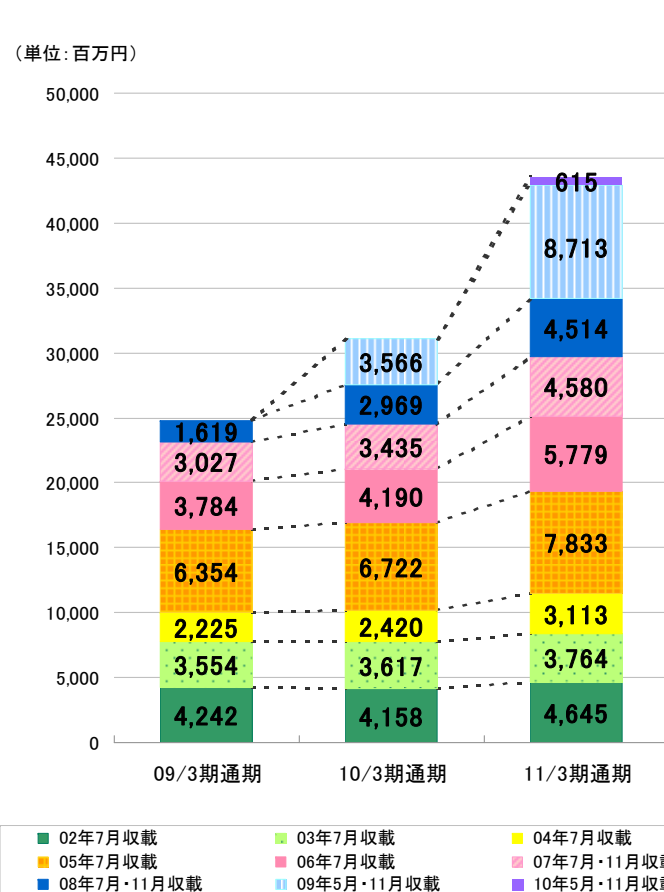
販路別 販売実績

◆ 好調な保険薬局市場を背景に、特に卸ルートの上売が大幅に伸長



収載年度別 売上推移

◆ 06年収載以降の生活習慣病薬等が好調



(単位: 百万円、%)

収載年月	10年3月期 通期	11年3月期 通期	前期比 増減率
10年5月・11月収載	—	615	—
09年5月・11月収載	3,566	8,713	144.3%
08年7月・11月収載	2,969	4,514	52.0%
07年7月・11月収載	3,435	4,580	33.3%
06年7月収載	4,190	5,779	37.9%
05年7月収載	6,722	7,833	16.5%
04年7月収載	2,420	3,113	28.6%
03年7月収載	3,617	3,764	4.1%
02年7月収載	4,158	4,645	11.7%
承継品他	1,445	1,362	-5.7%
既存品	17,541	18,929	7.9%
総計	50,069	63,853	27.5%

薬効別売上数量の動向

- ◆ 数量と売上がほぼ同等の増加率となる
- ◆ 消化器官用薬の売上増加率は数量増加率を上回る

薬効	数量構成比 10年3月期 通期	数量構成比 11年3月期 通期	前期比 数量増減率	(参考)前期比 売上額増減率
消化器官用薬	22.9%	23.9%	33.3%	41.7%
循環器官用薬	22.0%	22.3%	29.6%	27.6%
中枢神経系用薬	13.1%	12.6%	22.8%	18.9%
その他の代謝性医薬品	12.5%	11.6%	19.1%	17.0%
ビタミン剤	9.3%	8.1%	11.2%	7.9%
血液・体液用薬	4.8%	5.1%	35.7%	29.7%
抗生物質製剤	2.4%	2.6%	37.8%	25.1%
アレルギー用薬	1.7%	2.0%	51.0%	48.6%
化学療法剤	0.7%	0.7%	26.2%	20.5%
その他	10.6%	11.1%	33.0%	24.8%
総計	100.0%	100.0%	27.7%	27.5%

損益計算書 分析

(単位: 百万円、%)

	2010年3月期 通期		2011年3月期 通期		前期比 増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率
売上高	50,069	100.0%	63,853	100.0%	13,784	27.5%
売上原価	26,274	52.5%	33,736	52.8%	7,461	28.4%
売上総利益	23,794	47.5%	30,117	47.2%	6,322	26.6%
販売管理費	15,275	30.5%	16,530	25.9%	1,255	8.2%
営業利益	8,518	17.0%	13,586	21.3%	5,067	59.5%
営業外損益	△ 111	-0.2%	△ 882	-1.4%	△ 770	-
経常利益	8,406	16.8%	12,703	19.9%	4,296	51.1%
特別損益	△ 34	0.0%	△ 413	-0.7%	△ 379	-
法人税等・少株損益	3,390	6.8%	5,106	8.0%	1,716	-
当期純利益	4,982	10.0%	7,183	11.2%	2,200	44.2%

主な増減要因

- ・ 売上高増加 : + 87億円
- ・ 変動原価率アップ(1.8%):
△ 12億円
- ・ 固定原価等増加: △ 12億円

- ・ 人件費 : + 6億円
- ・ 試験研究費 : + 3億円
- ・ 広告宣伝費 : + 1億円
- ・ その他 : + 2億円

- ・ 社債発行費 : △ 8億円

キャッシュフロー計算書 分析

(単位:百万円)

	2010年3月期 通期	2011年3月期 通期
税金等調整前当期純利益	8,372	12,289
減価償却費	3,024	3,065
運転資金	△ 2,188	△ 8,440
法人税等の支払	△ 2,503	△ 4,573
その他	1,200	3,597
営業CF	7,906	5,938
設備投資(有形・無形)	△ 5,369	△ 2,804
その他	41	△ 17,558
投資CF	△ 5,328	△ 20,362
借入金増減	1,223	△ 3,952
配当金	△ 863	△ 1,259
その他	△ 11	29,967
財務CF	347	24,755
資金増減	2,926	10,331

- 売上債権の増加: △47億円
- 棚卸資産の増加: △31億円
- 仕入債務の減少: △ 6億円

○ 未払金の増加: +21億円

- 定期預金の預入れ: △110億円
- 投資有価証券の取得: △ 60億円
- 子会社株式の取得: △ 16億円
- 有形固定資産の売却: + 9億円

- 短期借入金の純減: △41億円
- 長期借入金の借入: +30億円
- 長期借入金の返済: △29億円

○ 新株予約権付社債の発行:
+299億円

2012年3月期 経営方針

中期経営計画(2009～2011年度)基本方針

M1 TRUST

- I. 市場成長率を大きく上回る売上高の伸長
- II. 徹底したコストコントロールと効果的な戦略投資による経営体質のさらなる強化
- III. ゆるぎない「サワイ」ブランドの構築

【成果】

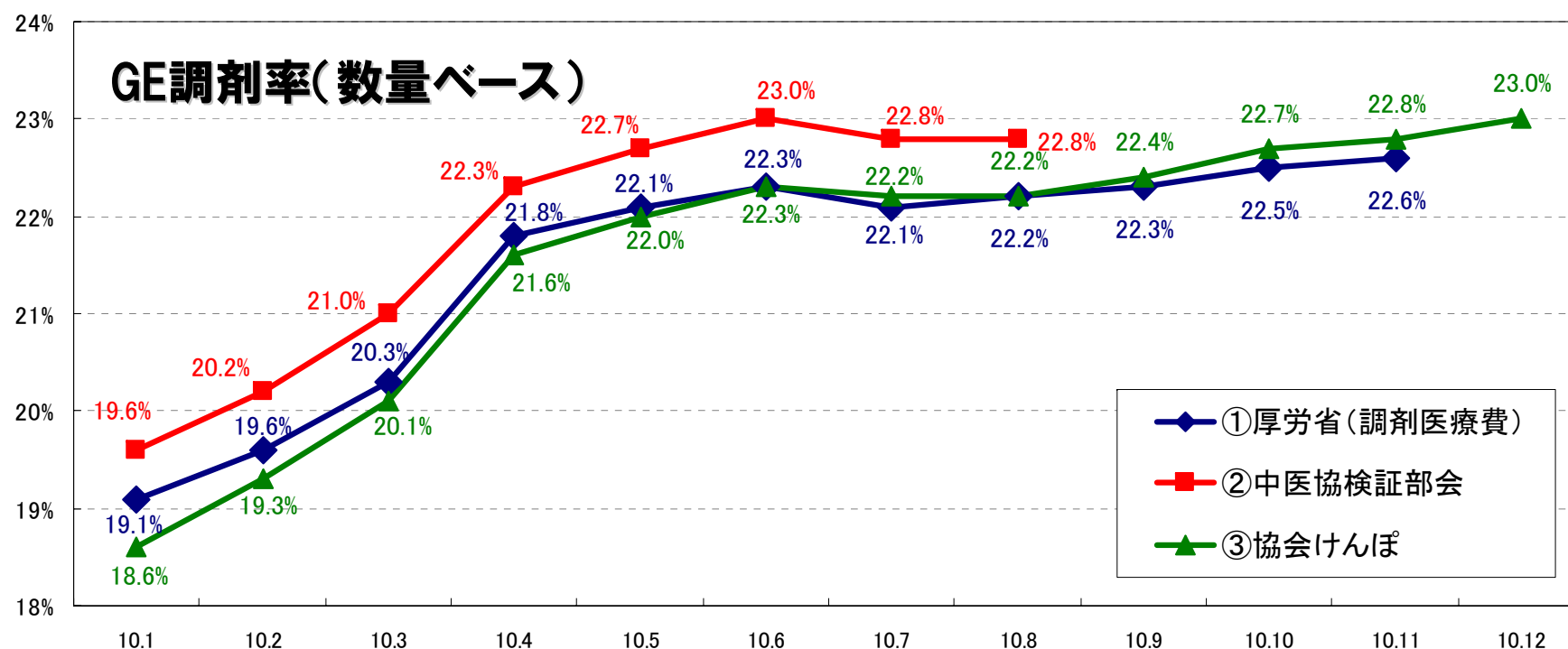
- 利益面では、2年目で中期経営計画目標を達成
- 生産性向上とコストコントロールにより、製造固定費率と販売管理費率を大幅に改善(2009年3月期48.4%→2011年3月期38.8%)

【課題】

- 品質・安定供給・情報提供においてさらなるレベルアップ
- 売上高1,000億円に向けた基盤作り

GE調剤動向

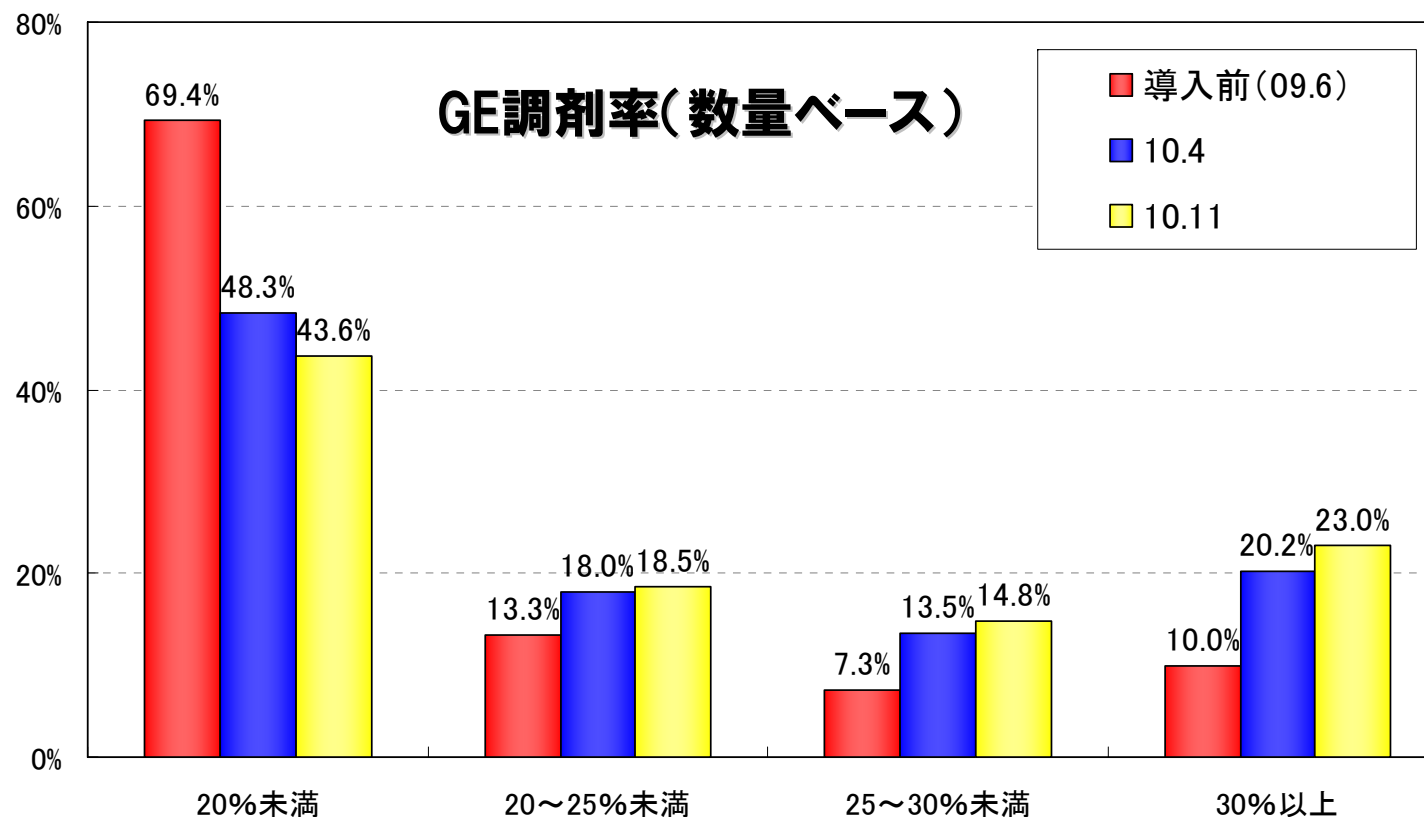
◆ GE調剤率は23%前後で足踏みの状況



出典:①2011.4.1厚労省「最近の調剤医療費の動向」、②2010.12.8中医協診療報酬改定結果検証部会資料、③2010協会けんぽ調べ

GE調剤率の階級別保険薬局数の構成

◆ GE調剤率は増加したものの、20%未満が全体の4割以上を占める



出典:

①導入前(2009.6):診療問題小委(中医協2009.12.16資料)

②2010.4時点:調剤医療費

③2010.11時点:調剤医療費

処方せん状況

◆ 変更不可に署名のない処方せんでもGEが調剤された割合は依然として低い

	2010.12.8中医協検証部会 (2010.9.27～2010.10.3 1週間分)	2009.4.22中医協検証部会 (2008.12 1ヶ月分)
変更不可に署名なし GE未収載 患者希望せず 外用同一剤形GEなし うち、1品目でも GEに変更した処方せん うち、1品目でも 他のGEに変更した処方せん	67.0% 24.9% { 7.0% 17.1% 0.8% $67.0\% - 24.9\% = 42.1\%$ 5.7% (5.7% / 67.0% = 8.50%) 0.4% (0.4% / 67.0% = 0.6%)	65.6% 12.5% { 6.7% 5.8% 4.0% (4.0% / 65.6% = 6.1%) 0.3% (0.3% / 65.6% = 0.5%)
変更不可に署名あり うちGE銘柄指定	33.0% 14.1% (14.1% / 33.0% = 42.7%)	34.4% 14.3% (14.3% / 34.4% = 41.6%)

2012年3月期 販売計画

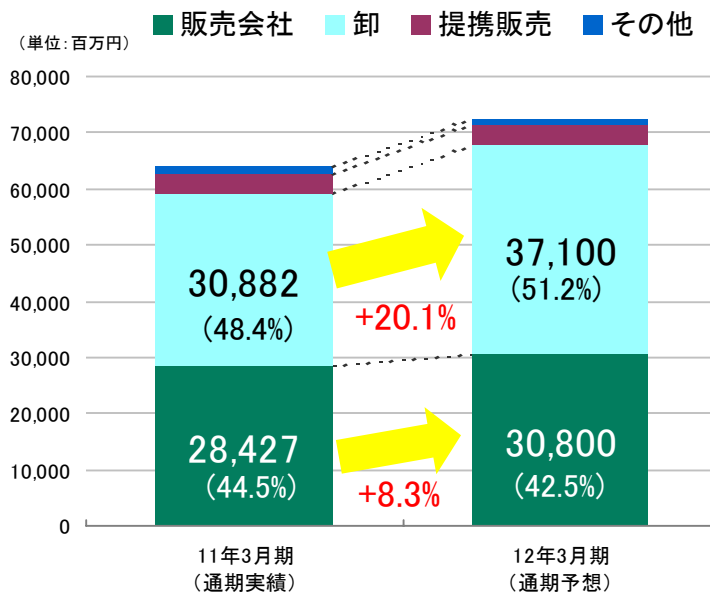
- ◆ 引き続き保険薬局・病院に注力
- ◆ 卸経由の売上は、前期比約20%増を計画

医療機関別

(単体・納入ベース)

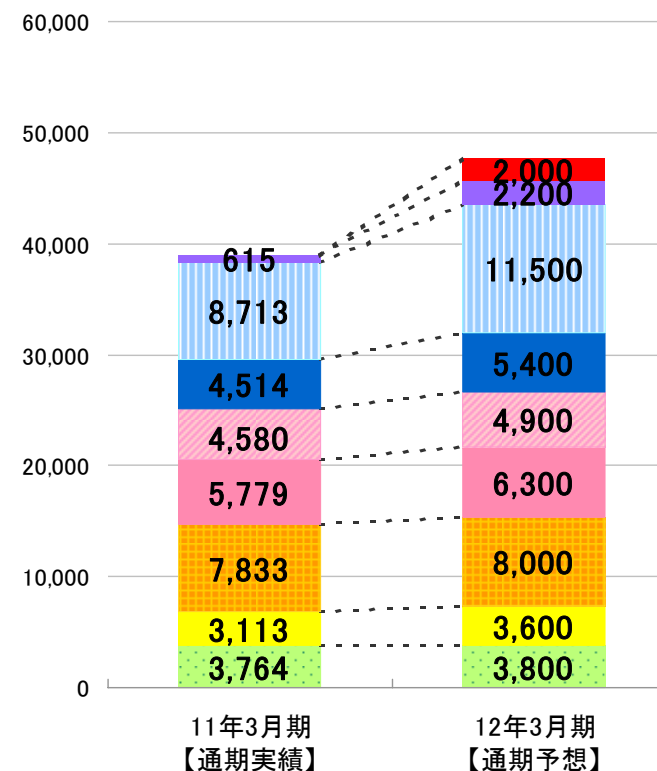
- ・ 保険薬局 前期比 **20%増**
- ・ 病院 前期比 **12%増**

販路別



収載年度別

(単位: 百万円)



03年7月収載 04年7月収載 05年7月収載
 06年7月収載 07年7月・11月収載 08年7月・11月収載
 09年5月・11月収載 10年5月・11月収載 11年6月・11月収載

今期収載予定新製品

◆ 2011年6月に11成分14品目の収載を予定

主要製品名	先発品名	薬効
ピオグリタゾン錠	アクトス	糖尿病治療剤
エダラボン点滴静注液	ラジカット	脳保護剤

ピオグリタゾン錠



エダラボン点滴静注液(バッグ)



エダラボン点滴静注液



東日本大震災の影響

【被害状況】

(全社) 人的被害無し
 (関東工場) 一部の設備・機器に損傷あるも、操業に影響無し
 (仙台支店) 建物損傷→5月30日移転(予定)

【体制】 即日危機管理本部を設置

【ピーク時電力使用量抑制対策】

(全社) 節電意識の徹底・節電対策の推進
 (関東工場) 深夜操業と土曜日操業で、供給電力制限に対応し
 夏季に長期の休業期間を設定(予定)

2012年3月期 業績予想

◆ 中期経営計画目標に対し、売上は若干未達も、利益面では大幅に上回る見通し

(単位: 百万円、%)

	2011年3月期		2012年3月期				
	実績		中期経営計画		業績予想(5月12日公表)		
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比増減率
売上高	63,853	100.0%	74,000	100.0%	72,500	100.0%	13.5%
売上原価	33,736	52.8%	40,700	55.0%	38,200	52.7%	13.2%
売上総利益	30,117	47.2%	33,300	45.0%	34,300	47.3%	13.9%
販売管理費	16,530	25.9%	21,800	29.5%	19,800	27.3%	19.8%
営業利益	13,586	21.3%	11,500	15.5%	14,500	20.0%	6.7%
営業外損益	-882	-1.4%	-	-	-	-	-
経常利益	12,703	19.9%	11,100	15.0%	14,400	19.9%	13.4%
特別損益	-413	-0.7%	-	-	-	-	-
法人税等・少株利益	5,106	8.0%	-	-	-	-	-
当期純損益	7,183	11.2%	6,000	8.1%	8,300	11.4%	15.5%

M1 TRUST

みんなで1番 「信頼」を築く

売上高 1,000億円 達成
(2014年3月期までに)

2009年3月期 実績

■ 売上高	: 442億円
■ 営業利益	: 46億円
■ 当期純利益	: 24億円

2012年3月期 予想

■ 売上高	: 725億円
■ 営業利益	: 145億円
■ 当期純利益	: 83億円

- 本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、すでに確定している要素を除き、潜在的风险や不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。
- 潜在的风险や不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先

沢井製薬株式会社

経営管理部 企画・IRグループ

E-mail : ir@sawai.co.jp

Phone. : 06-6105-5823